

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	循環型生ごみリサイクル事業				会計	款	項目	大	小
					01	04	02	03	03
政策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）			主管課	クリーンセンター			
施策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり			主管課長	糸井 正人			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内小中学校	意図	市内の小中学校で生ごみの資源化のために肥料化モデル事業として実践してもらい環境教育の一助とする。
事業内容	学校給食を作った時に出る調理くずと食べた後に出る生ごみを燃えるごみとしてではなく肥料にしていく大型生ごみ処理機を導入し、生ごみの減量・資源化の推進を図るとともに環境教育に役立てる。			
事業開始から現在までの状況変化	生ごみ処理機はごみの減量策として非常に効果的であることから、生ごみを多量に排出する学校等において大型生ごみ処理機を導入してごみの減量を図るため、小山小学校（H8設置、H20廃止）、向小金小学校（H13）に設置した。また、南流山小学校（H21）、八木南小学校（H21）、江戸川台小学校（H21）、西深井小学校（H23）にも設置し、現在5基が稼働している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
①	生ごみ投入量	7,503	7,841	6,783	kg	↓↓↓	
②	大型生ごみ処理機の設置基数	5	5	5	基	↓↓↓	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 大型生ごみ処理機 5基設置 （液肥型 1基、乾燥型 4基）
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,982,250	2,046,848	2,071,272			
事業費(b)(円)		584,850	664,848	565,272			
うち一般財源		584,850	664,848	565,272			
職員給与費(c)(円)		1,397,400	1,382,000	1,506,000			
人役・職員(人)		0.20	0.20	0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	大型生ごみ処理機の関係者からの情報を求める。	③取組の課題	この事業の懸案としては、電気料等の維持経費や機器保守に伴う職員への負担が考えられる。また、機器の老朽化及び処理方式の協議も必要と考える。
②今年度(H27)に実施した取組	生ごみ（給食残渣）を堆肥化したものを学校に提供した。	④今後の改善計画	関係者からの情報を収集するとともに、継続的に市内小中学校と協議し、生ごみの減量・資源化の推進を図り、環境教育の一貫としての活用を求めていく。